

九州の星
Star of Kyushu

| 62 |

頑張るあなたを
応援するコーナーです

生産者と仲買人、双方から信頼されるセリ人になる

※セリでは通常マスクを着けていますが、
写真撮影の為、一時的にマスクをずらしています

福岡中央魚市場株式会社 セリ人



中村 友海

NAKAMURA YUMI

Age 21

勤務先 福岡中央魚市場株式会社
鮮魚第一部 特種課
セリ人

福岡県初！女性のセリ人誕生

午前3時の「福岡市長浜鮮魚市場」。大勢の仲買人の独特な掛け声と「手やり」と呼ばれる指の合図が飛び交う中、アカガイをセリにかける中村友海さん。今年6月にセリ人になったばかりで、セリ人の証である白い帽子がまぶしく光る。

小さい頃から漁師の父に連れられ魚市場に出入りし、セリ人という仕事に憧れを抱いた中村さんは、水産高校へ進学。セリ人になることは周囲から猛反対されたが「一生をかけてやれる仕事をしたい。周りに何を言われようが、一度口に出したことから逃げたくない」とセリ人の道に突き進んだ。

福岡中央魚市場株式会社に入社後

は、3年間の現場経験を積み、2020年5月セリ人試験を受け合格。6月から魚市場でセリ人としてデビューした。

「上司や先輩に現場の事をしっかり教えてもらっています。怒られることもありますが、怒られるということは、自分のでない部分を教えてもらっているということ。とてもありがたいことです」

入社4年目。昼夜逆転の生活にも馴れ、セリ人としてのやりがいを感じる日々。「生産者と仲買人、双方が納得し喜んでもらえるようなセリが理想です。双方からありがたいといわれると、明日も頑張ろうと思えます」



▲中村さんのセリの様子



▲セリが終わっても書類作成や漁師さんへの問合せ等に追われる